



教頭
大嶋 康裕

荒尾高校の最後の卒業式・閉校式を終えて感動の一日でした。卒業生はみんな着物を袴をはいての入場。緊張感漂う会場の雰囲気は飲まれそうになる自分を押し殺して開式の辞。緊張感に飲まれ、マイクのスイッチを入れ忘れ、地声で開式の辞を述べました。最後の卒業式、間違えるわけにはいかなかったというプレッシャーはありました。何とか乗り切りました。後は卒業生の様子をじっくりと見させていただきました。予行の日には、だらけていた感じだったのに、さすが卒業生、凛とした姿勢で終始、式の主役を立派に務めてくれました。続く閉校式での開式の辞、ちよつと声を張って思い切り行きました。「声「力」すぎ」だったでしょうか？肅々と進む閉校式、一生に一度の経験でしょう。卒業式を終えたばかりで余韻に浸る暇も無く、閉校式も最後の同窓生として立派に務めました。式終了後の報道関係者や同窓会の先輩方の囲み取材の数で、浜田さんは真に式の主役だった事が、よくわかりました。

卒業生からのコメント



甲斐 静香

畠中先生や他の先生方、今までありがとうございました。ありがとうございます。なんだか卒業するのはさみしいですが、私はまた新たな一歩を踏み出します。



浜田 香佳

4年間、長かったです（笑）卒業できたのが夢みたいで、毎日々ぐりぐりに上にあがって自分でもよくがんばったと思います。もう学生と言えないと思うと少しさみしいけど卒業できることを一杯やっつて悔いのない学生生活をおくれるよう、がんばっていきます。どこかで会ってもスルーしないでね（笑）では、仕事本気でがんばってきます。



松嶋 美樹

4年間お世話になりました。

担任より



4年担任
畠中 大典

皆さん、卒業おめでとうございませう。皆さんを1年生の時から見つけて4年。あつという間...ではないですね。長かった...という気もします。いろいろなことがありましたから。印象に残っているみなさんの思い出をあげてみましょうか。



ある掃除道具の使い方を教えたら本気でめくちやちや怒られた。え？何で？生徒会をするかどうか迷っている時、ある出来事が発生。そのあと、顔つきが本気（ツシ）になって「私、やるわ」と生徒会に入ることを決断。そばで見ていた私はとてもハラハラしてました。話しかけても話しかけても話しかけても全く相手にされなかったが、3年生くらいに初めて、話しかけられた。しかも笑顔で。あの時の笑顔は忘れられない。今となつては笑つて話せる話になりましたが、当時はとても必死でした。迷つて、とまどつて、反省して...の繰り返しです。しかし皆さんの卒業していく姿を見て一気にはいい思い出に変わっていきます。私また頑張れそうです。とついで皆さん、これからも元気に頑張ってください。応援していますよーそれではまた。お元気で。

最後のホームルーム



卒業ムービー鑑賞中



卒業生スピーチ

それぞれの思いがこもった素晴らしいものでした



涙で証書が読めない...



お世話になった先生方から



保護者の皆さまからも大きな拍手が



最後の担任の話 ウケてる？



卒業おめでとう！